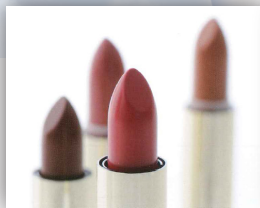


New Japan Chemical Co., Ltd.

油脂技術と水素化技術で化学産業を基盤から支える



化粧品、トイレットリーなどに利用される高級アルコール(左)、内装素材に使われる塩化ビニル樹脂を柔らかくする可塑剤(中央)、LED用途に使われるエポキシ樹脂の硬化剤(右)などの基礎化学製品を、独自の技術と確かな生産設備で製造販売している。

コア技術と事業概要

新日本理化はオレオケミカルの総合メーカーとして、天然の植物油・動物油を主原料に、独自のものづくり技術を駆使して、工業用原料からパーソナルケア製品にいたるまで幅広く基礎化学製品を製造販売しています。また、塩化ビニル樹脂の可塑剤、ポリプロピレン樹脂の透明化剤など汎用樹脂に添加して機能性を付与する各種添加剤も製造販売しています。さらに、高度な水素化技術を活用した化成品事業では、各種樹脂原料や酸無水物などの高機能製品を豊富に取り揃え、LED封止透明樹脂、液晶ディスプレイ配向膜、電子回路絶縁材樹脂などの工業製品に応用されています。とくに、コア技術である高選択的水素化においては、世界トップクラスの技術力を誇っています。

注目の新技術・新展開

事業の特徴としてはマーケットイン主体でユーザーニーズを取り込み、探索研究から技術開発、工業化・事業化検討、製品化という一貫した顧客志向の新製品開発を展開しています。また、ハンドリングの難しい高圧水素を生産工程でも安定的に取り扱い、コストダウンを図りながらスケールアップしていくなど、プラント立ち上げに関するノウハウも蓄積しています。

近年は、例えば、省燃料・環境対応型潤滑油および添加剤など、個々の特殊なユーザーニーズに応じて、的確な分子設計からの高付加価値製品の開発にも注力しています。



エステル化技術と分子設計力を活かした高性能の潤滑油基油および潤滑油添加剤

企業情報

新日本理化株式会社

1919年の創業まもなくから、当時の余剰魚油を水素化して硬化油・石鹼の製造、1930年代には高圧水素化による高級アルコールの製造など、今の事業ドメインに結びついている。大阪に本社を置き、京都に研究開発の中核を担う研究所を有する。国内の生産拠点としては、京都、徳島、川崎、堺に工場がある。国内外に製造販売を行うグループ会社が存在する。東京証券取引所一部上場。

創立 : 1919年11月10日
資本金 : 56億6,000万円
本社 : 大阪市中央区備後町2丁目1番8号
研究所 : 京都
生産拠点 : 京都工場、徳島工場、川崎工場、堺工場
Web : <http://www.nj-chem.co.jp/>
Tel : 075-611-2201 (京都工場・研究所)

取引の多い業界分野



業界の位置づけ



お問い合わせ

京都市産業観光局産業イノベーション推進室

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話 075-222-3324

FAX 075-222-3331